

第4回京都市・乙訓地域公立高校教育制度に係る懇談会

= 配 付 資 料 =

資料 No.	名 称	頁番号
1	懇談会における「教育制度」に係る意見(概要)	1
2	平成24年度公立高等学校入学者選抜概要(京都市・乙訓地域の 全日制普通科)について	3
3	平成23年度高等学校入学者選抜の状況(全国)	
	・全日制課程普通科の通学区の設置状況	6
	・学力検査(一般入試)の実施方法	7
	・一般入試における学力検査結果と調査書の活用方法	8
	・受験機会の複数化	9
	・第2次募集の実施方法	10

懇談会における「教育制度」に係る意見（概要）

◆現状と課題

【生徒の意識】

- ・ 希望がかなって高校に入学してきた生徒の意識や意欲は高い。
- ・ 高校を選びたいという生徒や保護者の思いが強まってきている。
- ・ 友だちも行くからという理由や人気度などで高校選びをしている傾向がある。
- ・ 高校生活に期待を抱き、各高校の特色や部活動、卒業後の進路など幅広い選択肢の中から自分にあった高校を選ぼうとしている。
- ・ 私立高校への修学支援制度が拡充される中、私立高校も含めて複数の高校を受検し、合格した中から高校を選ぶ生徒が増えている。
- ・ うわさ話などから高校のあらぬ風評が立ち、進路選択に影響を与えている。

【類・類型制度】

- ・ 高校の特色づくりを進める中、生徒や保護者が学校を選択する傾向が強まり、類・類型制度だけでは生徒や保護者のニーズに対応しきれなくなってきている。
- ・ 類・類型制度のもとでは、各高校において思い切った特色が出しにくい。
- ・ 希望の学校であれば第Ⅰ類でも第Ⅱ類でもよいという生徒が増えるなど、類・類型設置の趣旨が希薄になってきている。
- ・ 中学生段階で決めた進路が高校進学後にも変わることもあるが、現行制度のもとでは高校入学後には選び直しにくい。

【入学者選抜制度】

- ・ 生徒や保護者の声を受け、制度改正を重ねてきた結果、制度が複雑化している。
- ・ 多様化に対応しようとするれば制度も細かくせざるを得ない。また、評価尺度の多元化は必要だが、基準がわかりにくくなる面がある。
- ・ 地理的条件で入学校が決定されるため、希望と異なる学校へ入学したり、入学した高校の特色に合わなかったりする生徒もいる。
- ・ 現行制度では、希望する公立高校に進学できないという理由で私立高校を選ぶ生徒がいる。総合選抜という制度上の課題である。

◆今後の方向性

【制度設計に向けた議論の方向性】

- ・ 中学生が目的意識を持って高校選びができるような制度が必要である。
- ・ 各高校において、一人一人の生徒が望む進路や将来の希望に十分応えられることを基本に考えるべきである。
- ・ 本人の能力や学習成果によらず、制度によって生徒が希望する高校に進学できないという点については、早急に改善していかなければならない。
- ・ 入試制度は府内全体に関わるものであることを十分考慮して検討すべきである。

【中学校の進路指導】

- ・ 生徒一人一人の願いや希望、可能性について、しっかりと相談にのれるような進路指導の体制整備や生徒・保護者に対しての適切な情報提供が必要である。
- ・ 高校進学後の進路も含め、キャリア教育の視点からの進路指導が重要である。

【類・類型制度】

- ・ 高校入学後において、生徒が将来の方向性に気づいたときにも、選び直しができるような教育制度が望ましい。
- ・ 高校入学時に類・類型を選択するより、高校進学後に選択できるほうがよい。各学校がそれぞれの生徒の学習したい内容や意欲に応えるという観点から、例えば、学校裁量の中で柔軟なコース設定ができる制度が必要である。
- ・ 生徒の多様なニーズに応えすぎると、選択肢が広がりすぎてかえって混乱する。
- ・ 発達障害などの生徒たちの力が発揮できるような教育課程を整えた高校の在り方や教育制度についても検討していく必要がある。

【特色ある学校づくり】

- ・ 公立高校には、どの学力層の生徒にも開かれているだけでなく、個々の生徒の興味・関心に対しても開かれ、あらゆるニーズに応えられることが求められる。
- ・ 高校の特色づくりにより、生徒たちが希望する高校に進学し、各高校で一人一人が成長していける教育環境を整備すべきである。
- ・ 各高校の特色がすべて異なるということは難しいが、自校としての教育方針をもって、入学してきた生徒に力をつけることを大切にして取り組む必要がある。
- ・ 中学生や保護者に選んでもらえるような高校づくりをしなければならない。各高校の取組を特色としてきちんと中学生や保護者に伝える努力が必要である。

【公立高校の役割・私立高校との関係】

- ・ しっかりとセーフティネットの役割を果たす制度とすべきである。
- ・ 経済的な事情で公立高校にしか行けないが、高校に入って頑張りたいという生徒が進学できる道が開かれるようなしくみや支援が必要である。
- ・ 私立高校のあんしん修学支援制度の拡充等もあり、公立か私立かということに気にせず高校を選択する生徒も増えている。入試制度や入試日程を検討する際には、私立高校との連携も必要である。
- ・ 併願の私立高校に合格した段階で気持ちが切れてしまい、公立高校の合格発表を待たずに、私立高校への進学を決めてしまう実態がある。複数校受検できるというメリットも大切だが、公立高校の入試時期について検討する必要がある。
- ・ 保護者が地元の高校を卒業しているので、自分も同じ高校に行きたいという生徒も多い。地域とのつながりは大切にしていかなければならない。

【制度のわかりやすさ】

- ・ 生徒や保護者にとってわかりやすい制度とすべきであるが、わかりづらいから変えるべきものと変えてはいけないものを精選して検討する必要がある。

【特色選抜】

- ・ 志願者数が多いのは、一般選抜まで待てずに早く進路を決めたいという傾向が強くなってきていることも踏まえておく必要がある。
- ・ 可否の基準がわかりにくい。各高校の求める生徒像が、中学生のニーズとあっていない状況もみられる。何が学校の特色なのかをもっとわかりやすく説明する機会を増やすなど、高校と中学校の緊密な連携が必要である。

【通学区域】

- ・ 京都市・乙訓地域は交通アクセスが非常に良く、高校数も他通学圏に比べて多いということを踏まえて検討する必要がある。
- ・ 高校までの単なる距離や時間ではなく、交通アクセスがポイントである。

平成24年度公立高等学校入学者選抜概要（京都市・乙訓地域の全日制普通科）について

※各選抜等の広報資料より、京都市・乙訓地域の普通科に関する部分を抜粋

【特別選抜】

1 海外勤務者帰国子女特別入学者選抜

学校名	課程	学科等	募集人員	志願者数	受検者数	内定者数
鳥羽	全日制	普通科第Ⅰ類	5名以内	1	1	1

2 中国帰国孤児子女特別入学者選抜

学校名	課程	学科等	募集人員	志願者数	受検者数	内定者数
鳥羽	全日制	普通科第Ⅰ類	5名以内	0	0	0

3 長期欠席者特別入学者選抜

学校名	課程	学科等	募集人員	志願者数	受検者数	内定者数
朱雀	全日制	普通科第Ⅰ類	10名程度	12	11	8
		普通科第Ⅱ類		2	2	2
乙訓	全日制	普通科第Ⅰ類	5名程度	3	3	3
		普通科第Ⅱ類		1	1	1

【適性検査】

学科 類・類型	学校名	募集 定員	出願者数		受検者数(A)		合格者数(B)	
			人数	定員比	人数	定員比	人数	A/B
普通科第Ⅲ類体育系	洛北	40	54	1.35	53	1.33	42	1.26
普通科第Ⅲ類体育系	鳥羽	40	45	1.13	45	1.13	40	1.13
普通科第Ⅲ類英文系	紫野	80	145	1.81	141	1.76	83	1.70

【推薦入学】

課程	学科	学校名	学科名等	募集 定員 (A)	推薦 募集 枠 (B)	推薦 募集 人員 (C) =(A*B)	志願者数		受検者数		内定者数		他通学圏 等からの 内定者数
							人数 (D)	倍率 (D/C)	人数 (E)	倍率 (E/C)	人数 (F)	倍率 (E/F)	
全 日 制	普 通 科	北稜	第Ⅱ類英語系	40	50%程度	20	38	1.90	38	1.90	20	1.90	4
		紫野	第Ⅲ類英文系	80	50%程度	40	133	3.33	130	3.25	47	2.77	0
		洛北	第Ⅲ類体育系	40	70%程度	28	53	1.89	53	1.89	30	1.77	15
		鳥羽	第Ⅲ類体育系	40	70%程度	28	42	1.50	42	1.50	28	1.50	4
		洛東	総合選択制	120	50%程度	60	132	2.20	132	2.20	71	1.86	

※他通学圏等から入学できるのは、一般選抜と合わせて第Ⅱ類・第Ⅲ類各20人以内(第Ⅲ類英文系は10人以内)

[特色選抜]

通学圏	学校名	募集定員 (A)	特色選抜 募集人員 (B)	志願者数		受検者数		内定者数	
				人数	倍率 (C/B)	人数 (D)	倍率 (D/B)	人数 (E)	倍率 (D/E)
京都市北	山城	280	42	111	2.64	111	2.64	42	2.64
	鴨沂	200	30	41	1.37	41	1.37	30	1.37
	洛北	80	12	54	4.50	54	4.50	12	4.50
	北稜	280	42	39	0.93	39	0.93	39	1.00
	朱雀	200	30	74	2.47	72	2.40	30	2.40
	嵯峨野	40	6	29	4.83	29	4.83	6	4.83
	北嵯峨	320	48	58	1.21	58	1.21	48	1.21
	桂	240	36	102	2.83	102	2.83	36	2.83
	洛西	320	48	87	1.81	87	1.81	48	1.81
	堀川	40	6	35	5.83	35	5.83	6	5.83
紫野	200	30	126	4.20	126	4.20	30	4.20	
京都市南	洛東	160	24	50	2.08	50	2.08	24	2.08
	鳥羽	200	30	119	3.97	119	3.97	30	3.97
	桃山	240	36	126	3.50	126	3.50	36	3.50
	東稜	280	42	66	1.57	66	1.57	42	1.57
	洛水	240	36	45	1.25	45	1.25	36	1.25
	向陽	160	24	43	1.79	43	1.79	24	1.79
	乙訓	160	24	51	2.13	51	2.13	24	2.13
	西乙訓	120	18	60	3.33	60	3.33	18	3.33
	日吉ヶ丘	160	24	55	2.29	55	2.29	24	2.29
	塔南	200	30	88	2.93	87	2.90	30	2.90

[一般選抜]

○類・類型別

通学圏名	学校名	類・類型名		募集定員 (A)	内定者数 (B)	一般選抜募集人員 (A-B)	志願者数 (C)	受検者数 (最終) (D)	合格者数		倍率		備考	
									特色等	一般選抜 (E)	(D)/ (E)	23年度		
京都市北	山城	第Ⅱ類	人文	40	—	40	76	75	—	41	1.8	1.9		
			理数	40	—	40	73	73	—	41	1.8	1.8		
	鴨沂	第Ⅱ類	文理	40	—	40	15	15	—	23	0.7	0.8		
			文理	80	—	80	132	131	—	82	1.6	1.7		
	洛北	第Ⅲ類	体育	40	30	10	12	12	30	12	1.0	1.0		
			文理	40	—	40	61	59	—	40	1.5	1.1		
	北稜	第Ⅱ類	英語	40	20	20	23	23	20	20	1.2	1.0		
			文理	40	2	38	24	24	2	31	0.8	1.2		
	朱雀	第Ⅱ類	人文	40	—	40	80	79	—	42	1.9	1.8		
			理数	40	—	40	82	82	—	42	2.0	1.3		
	北嵯峨	第Ⅱ類	文理	80	—	80	91	90	—	80	1.1	1.4		
			人文	40	—	40	42	42	—	40	1.1	1.0		
	桂	第Ⅱ類	理数	40	—	40	56	56	—	40	1.4	1.0		
			人文	40	—	40	44	44	—	40	1.1	1.0		
	洛西	第Ⅱ類	理数	40	—	40	62	62	—	40	1.6	1.5		
			文理	40	—	40	96	95	—	42	2.3	1.9		
堀川	第Ⅱ類	人文	40	—	40	63	63	—	40	1.6	1.3			
		理数	40	—	40	53	52	—	40	1.3	1.4			
紫野	第Ⅲ類	英文	80	47	33	36	36	47	36	1.0	1.0			
		人文	40	—	40	44	44	—	40	1.1	1.0			
京都市北 通学圏計		第Ⅰ類	文理	2,200	335	1,865	1,691	1,679	335	1,822	—	—	注2	
			第Ⅱ類	人文	200	—	200	305	303	—	203	1.5	1.4	
				理数	200	—	200	326	325	—	203	1.6	1.4	
				文理	320	2	318	419	414	2	298	1.4	1.4	
				英語	40	20	20	23	23	20	20	1.2	1.0	
			第Ⅲ類	体育	40	30	10	12	12	30	12	1.0	1.0	
英文	80	47		33	36	36	47	36	1.0	1.0				
京都市南	鳥羽	第Ⅱ類	人文	40	—	40	63	63	—	40	1.6	1.0		
			理数	80	—	80	127	127	—	80	1.6	1.0		
	桃山	第Ⅲ類	体育	40	28	12	12	12	28	12	1.0	1.0		
			人文	40	—	40	87	87	—	40	2.2	1.9		
	東稜	第Ⅱ類	文理	80	—	80	87	86	—	80	1.1	0.9		
			文理	40	—	40	9	9	—	11	0.8	0.9		
	洛水	第Ⅱ類	文理	80	—	80	60	60	—	67	0.9	1.0		
			文理	40	1	39	45	45	1	39	1.2	0.9		
	向陽	第Ⅱ類	文理	80	—	80	84	84	—	80	1.1	1.2		
			文理	80	—	80	71	71	—	79	0.9	1.0		
乙訓	第Ⅱ類	文理	80	—	80	71	71	—	79	0.9	1.0			
		文理	40	—	40	48	47	—	40	1.2	1.4			
京都市南 通学圏計		第Ⅰ類	文理	2,560	321	2,239	2,310	2,303	321	2,196	1.0	1.0		
			第Ⅱ類	人文	1,920	292	1,628	1,617	1,612	292	1,628	—	—	注2
				理数	80	—	80	150	150	—	80	1.9	1.5	
				文理	80	—	80	127	127	—	80	1.6	1.0	
第Ⅲ類	文理	440	1	439	404	402	1	396	1.0	1.1				
	体育	40	28	12	12	12	28	12	1.0	1.0				
京都市北・ 京都市南 通学圏計		第Ⅰ類	文理	5,640	755	4,885	5,122	5,095	755	4,790	1.1	1.0		
			第Ⅱ類	文理	4,120	627	3,493	3,308	3,291	627	3,450	—	—	注2
				人文	280	—	280	455	453	—	283	1.6	1.4	
				理数	280	—	280	453	452	—	283	1.6	1.3	
				文理	760	3	757	823	816	3	694	1.2	1.2	
				英語	40	20	20	23	23	20	20	1.2	1.0	
第Ⅲ類	体育	80	58	22	24	24	58	24	1.0	1.0				
	英文	80	47	33	36	36	47	36	1.0	1.0				

○総合選択制

学校名	募集定員 (A)	内定者数 (B)	一般選抜募集人員 (A-B)	志願者数 (C)	受検者数 (最終) (D)	合格者数		倍率		備考
						特色等	一般選抜 (E)	(D)/ (E)	23年度	
洛東	120	71	49	60	60	71	49	1.2	1.0	

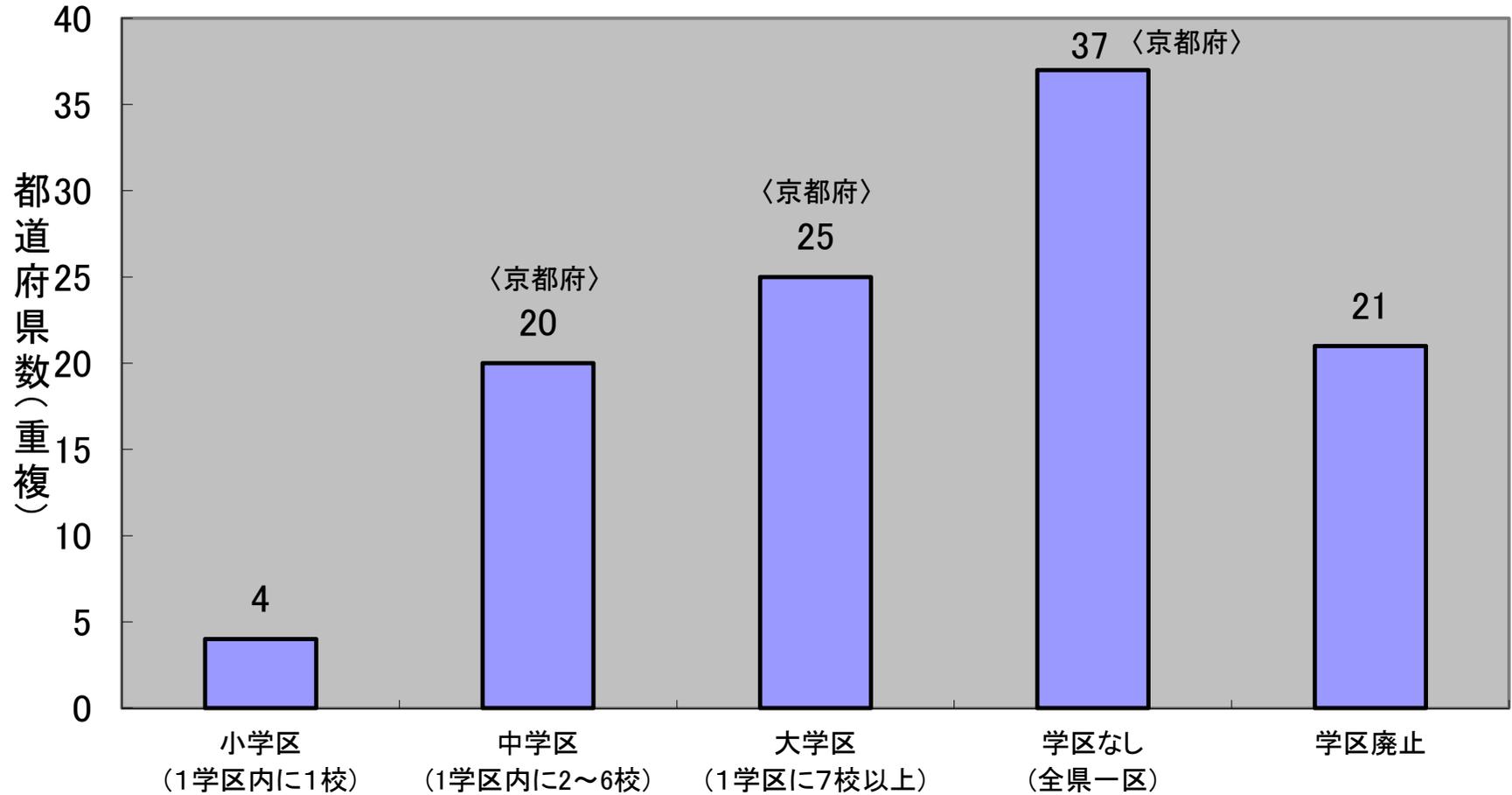
注1 内定者数は、推薦入学、特色選抜、海外勤務者帰国子女特別入学者選抜及び長期欠席者特別入学者選抜の内定者数である。

2 (C)欄は、第1志望にしている人数を記載している。

倍率欄は、第2志望と合わせて選抜している場合は、倍率を表記していない。

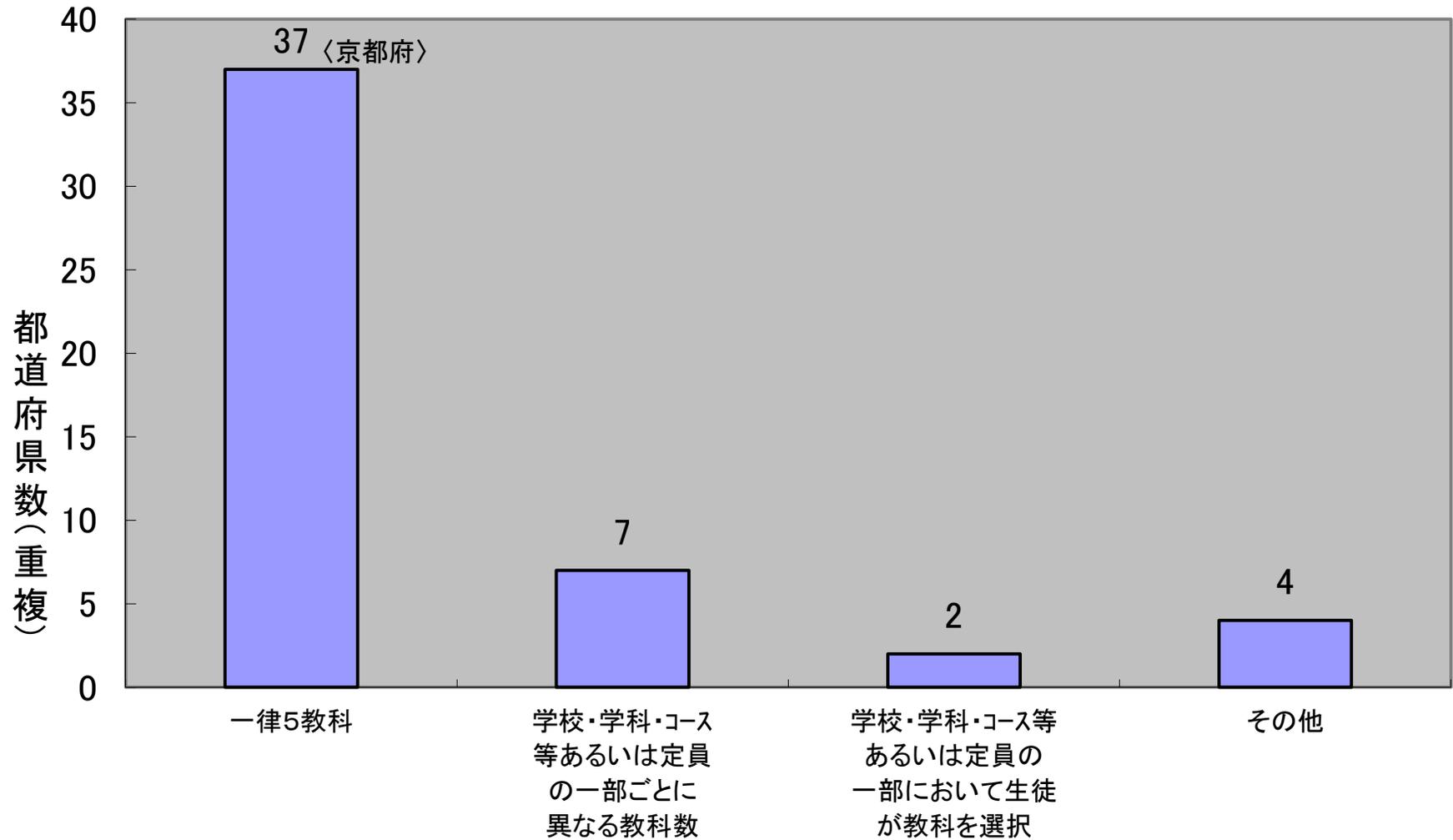
3 受検者数(最終)は、一般選抜受検者数に追検査受検者数を加えた数である。

全日制課程普通科の通学区の設置状況(平成23年度)



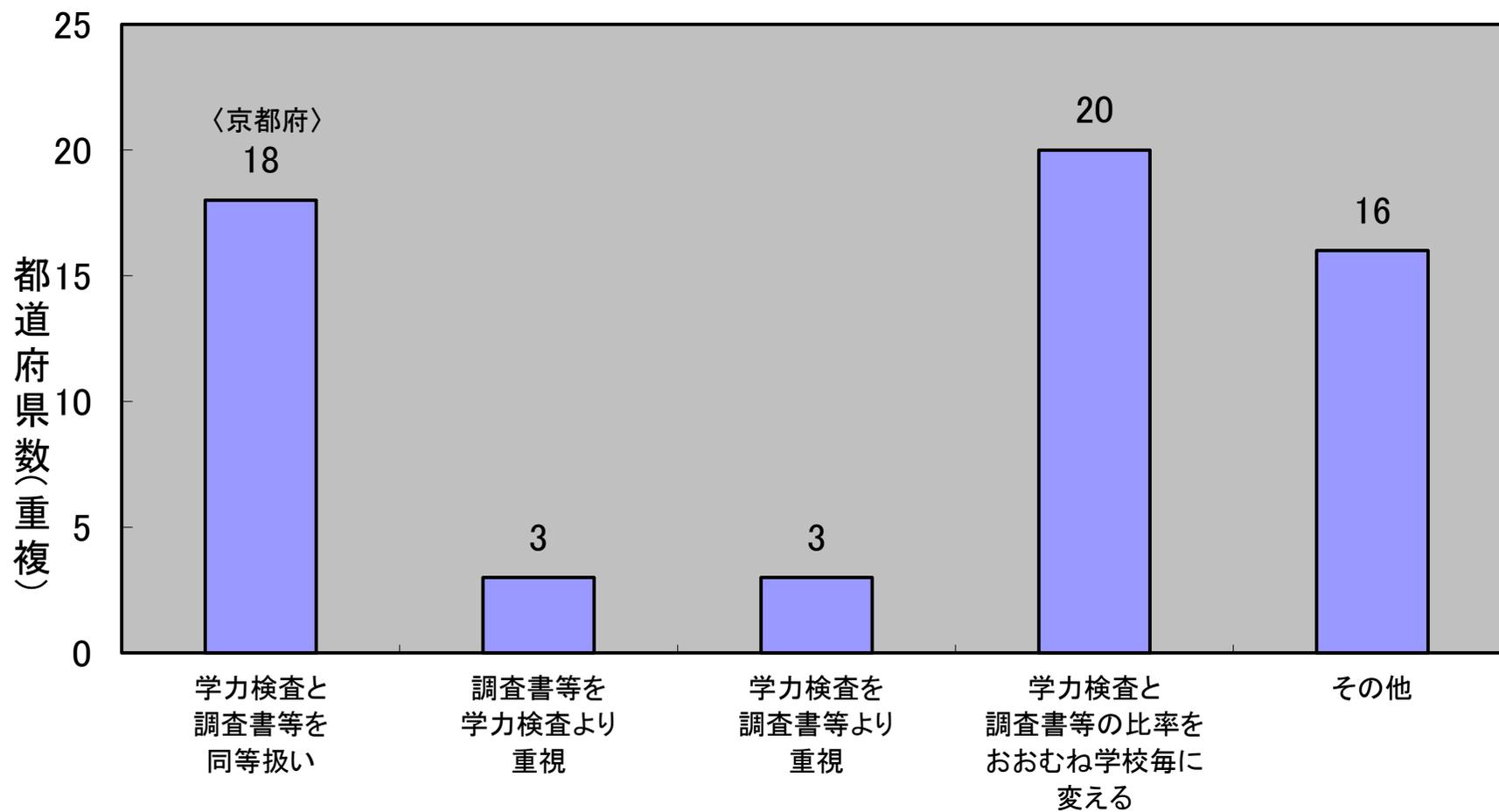
※「平成23年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査」(全国高等学校入学者選抜改善協議会資料)より

学力検査(一般入試)の実施方法(平成23年度選抜)

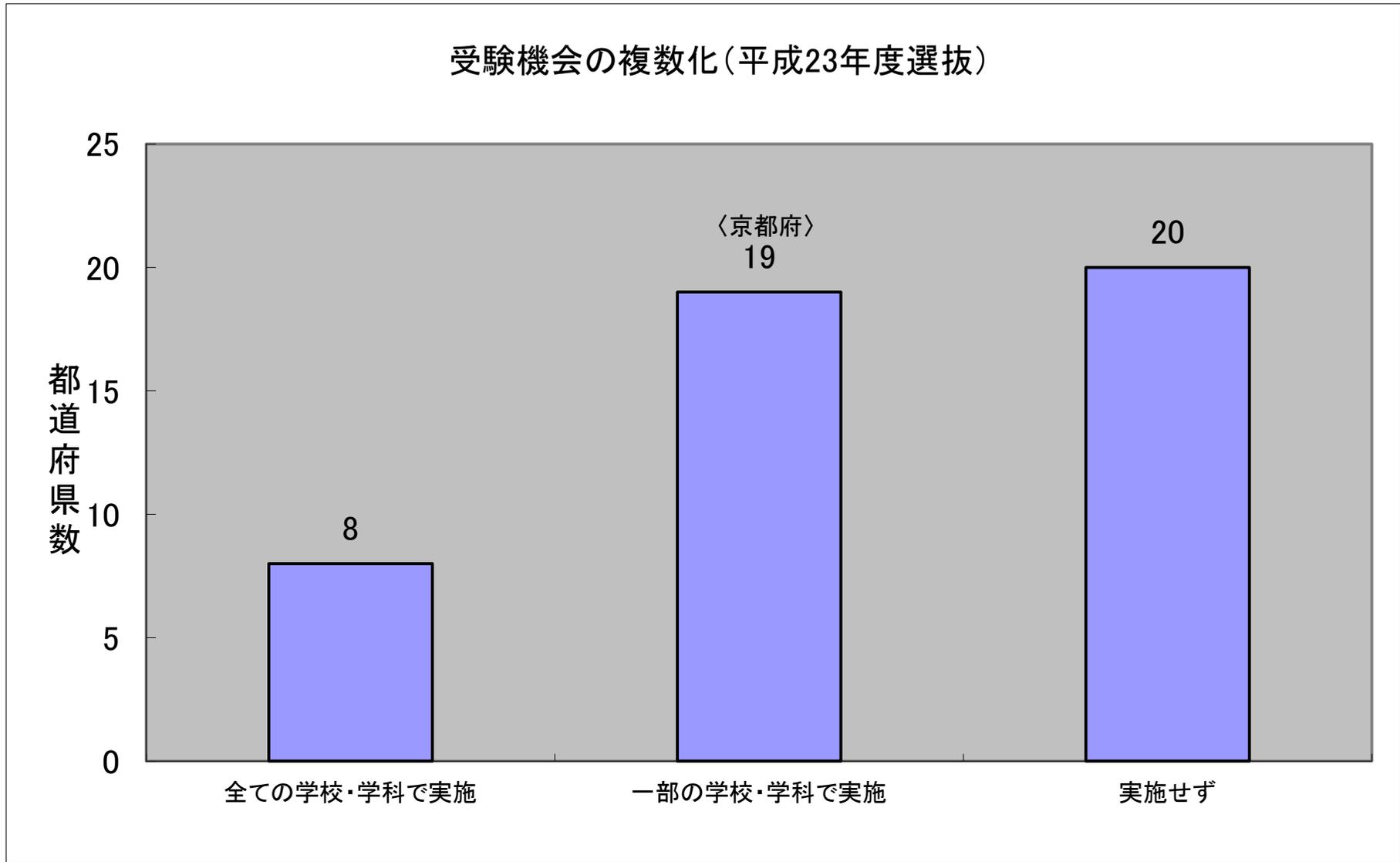


※「平成23年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査」(全国高等学校入学者選抜改善協議会資料)より

一般入試における学力検査結果と調査書の活用方法(平成23年度選抜)

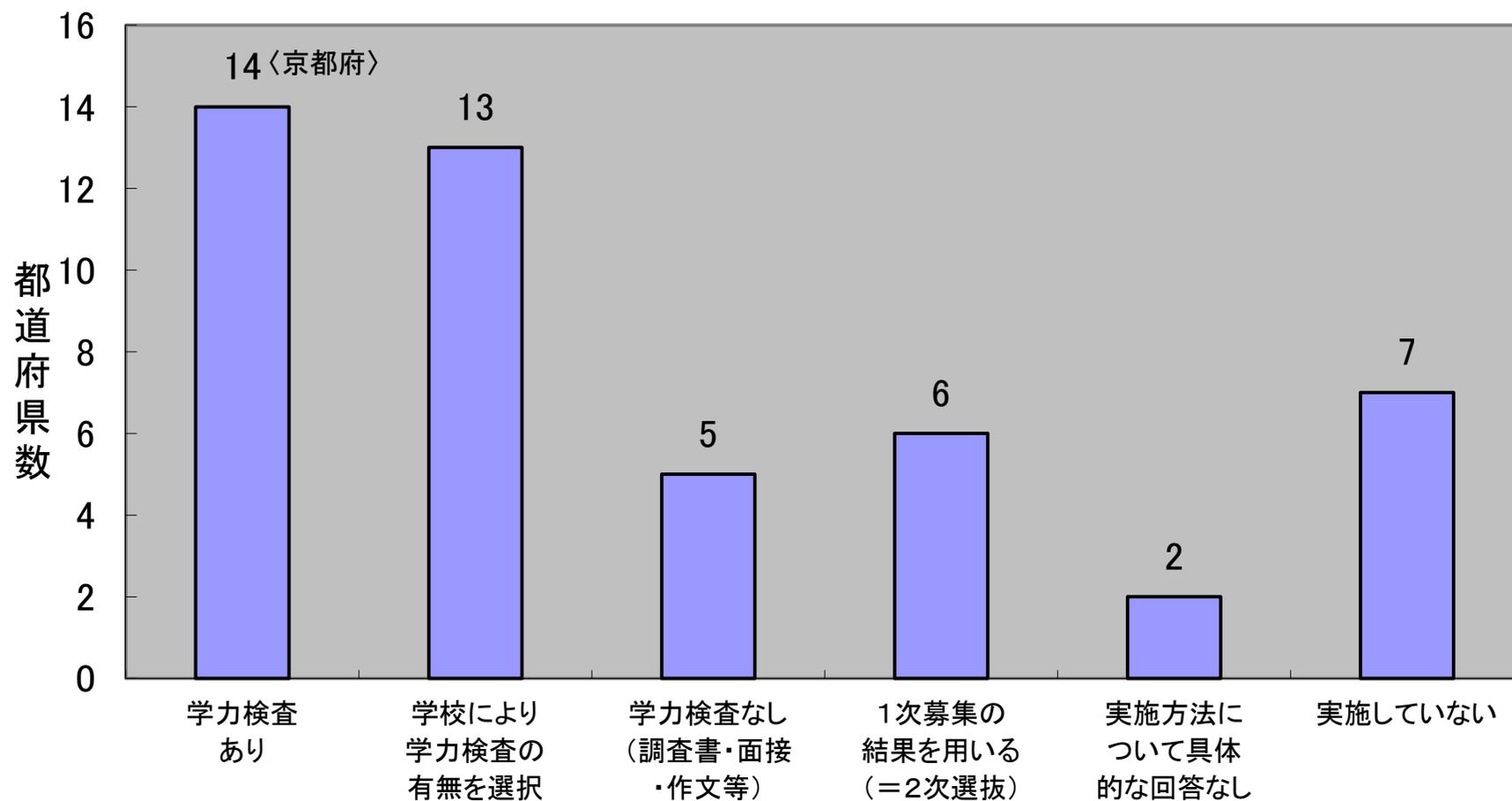


※「平成23年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査」(全国高等学校入学者選抜改善協議会資料)より



※「平成23年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査」(全国高等学校入学者選抜改善協議会資料)より

第2次募集の実施方法(平成23年度選抜)



※「平成23年度高等学校入学者選抜の改善等に関する状況調査」(全国高等学校入学者選抜改善協議会資料)より